

令和2年
伊豆市議会 12月定例会

一 般 質 問

令和2年 12月

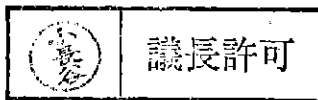
令和2年伊豆市議会12月定例会一般質問者と質問事項

12月1日（火）午前9時30分～

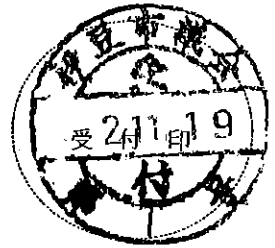
発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る も の	ページ
1	14. 三田 忠男	1. 新たな議会構成を踏まえた今後の市政運営について	市 長 教育長	1
		2. 障がい者、高齢者等が住みよい伊豆市について	市 長 教育長	
		3. 中伊豆地区の将来像をどのように描いているのか	市 長 教育長	2
2	13. 青木 靖	1. 新中学校の整備に向けて	市 長 教育長	3
3	15. 永岡 康司	1. 観光防災まちづくり推進計画	市 長	5
		2. 浜の活力再生プランについて	市 長	6
4	16. 杉山 誠	1. 行政手続きのオンライン化について	市 長 教育長	7
		2. 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直し	市 長 教育長	
		3. 横断歩道に近接した「危険なバス停」対策	市 長 教育長	8
		4. お悔み窓口設置で遺族負担の軽減を	市 長	9
5	6. 下山 祥二	1. 平和寺問題の早期完全解決に向けた取組みについて	市 長	10

12月2日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号. 氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る も の	ページ
6	1. 小川 多美子	1. 交通弱者の移動手段等について	市 長	12
		2. 事故防止のための対策について	市 長	
7	8. 星谷 和馬	1. 最大の課題人口対策	市 長	14
		2. 平和寺の廃棄物	市 長	15
8	10. 間野 みどり	1. 伊豆市児童発達支援について	市 長 教育長	16
		2. オストメイトを含めて障がい者対応の多機能トイレについて	市 長	17
9	2. 浅田 藤二	1. 移住者ケアチームの創設について	市 長	18
		2. 市内在住の地域づくりデザイナーや地域づくり実践者の発掘と活用について	市 長	19
		3. SDG s（エスディーゼーズ）への取り組みについて	市 長	20
		4. 地域おこし協力隊の地域づくり協議会への専属派遣について	市 長	21



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年11月19日

伊豆市議会議長 小長谷順二様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 新たな議会構成を踏まえた今後の市政運営について	<p>先の伊豆市議会議員選挙の結果、新人議員全員当選を含めて、第6期議会が始まりました。新たな議員・議会構成を踏まえて総括的に、今後の市政運営、議会との関係性について以下の点について市長、教育長に伺います。</p> <p>(1) <u>先の伊豆市議会議員選挙公報の各候補者の記載内容で、今後の市政運営に活かしていきたいと思われた記載内容があればどのような内容か伺います。</u></p> <p>(2) <u>選挙結果を踏まえて、伊豆市民は議会や市政に、何を期待していると思われたのか所感を伺います。</u></p> <p>(3) <u>新たな議会構成を踏まえて、今後の市政の重要課題実現のため、議会との関係性をどのように進めていくつもりか伺います。</u></p> <p>(4) <u>来年度予算編成にあたり、議会・各会派等と伊豆市の現状認識の共有化を深めるため、協議の場を設けるつもりはありませんか伺います。</u></p>	市長・教育
2. 障がい者、高齢者等が住みよい伊豆市について	<p>赤ん坊からお年寄りまで、伊豆市民として分け隔てられることなく、住みよい住み続けられる伊豆市について以下伺います。</p> <p>(1) <u>子育て世代の親御さんが伊豆市に期待している政策分野は人様々と思いますが、市長、教育長は、どのような政策分野であると認識しているか伺います。</u></p>	市長・教育長

件名	内容	答弁を 求める者
3. 中伊豆地区の将来像をどのように描いているのか	(2) <u>障がい児・障がい者に関する施策策定時に必要な情報として、最も重要視している情報は何か伺います。</u>	市長・教育長
	(3) <u>高齢者が安心して、伊豆市で一生を終えることができるために、希望している施策はどのようなものがあると認識しているか伺います。</u>	市長
	中伊豆地区の今後の将来像について以下の点について伺います。	
	(1) <u>中伊豆温泉病院の新たな建設地区である清水地区を中心として、西区・上和田区・ニューライフ区の今後の地域づくりについての将来像を伺います。</u>	市長
	(2) <u>小川区の、温泉病院の跡地について、伊豆市としての活用や、どのように関与するつもりか方針を伺います。また、橘保育園跡地の進捗状況について伺います。</u>	市長
	(3) <u>中学校再編後の、中伊豆地区のこども園・小学校の在り方、八幡を中心とした中地区の再開発等についての現状認識・方向性等を伺います。</u>	市長・教育長
	(4) <u>萬城の滝周辺開発、わさびの郷構想、八岳小学校の跡地活用、公共交通機関の再編等の八岳地区の課題についての現状認識・方向性等を伺います。</u>	市長
(5) <u>伊豆スカイラインゴルフ場太陽光発電事業の環境アセスメント、送電線等の開発行為等の県行政の許認可権限、国との関係等伊豆市行政の関与できる範囲について伺います。</u>	市長	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年11月18日

伊豆市議会議長 様

議席番号 13 議員名 青 木 靖

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問	質疑	反対討論	賛成討論	その他 ()
件 名		発 言 の 要 旨				答 弁 を 求める者
件 名		内 容				答 弁 を 求める者
1. 新中学校の整備 に向けて		<p>今期の伊豆市議会初日、臨時会終了後、伊豆市主要事業説明会が行われ、7項目の説明がなされました。その第1項目が「新中学校整備事業について」でありました。</p> <p>その中で、平成29年からこれまでの経緯を確認しましたが、それ以前の平成20年から教育振興審議会等で議論を続けてきた様々な課題を含んでいる問題であり、何としても今年度中に決着させるべきであると考えます。</p> <p>議会においては平成30年12月に「新中学校整備を求める決議」を採択し、その後も相当の議論を重ねてきました。教育委員会は令和2年3月に「新中学校整備基本構想」を策定し、概要の資料が全戸配布されました。</p> <p>長い時間をかけて慎重な議論を続けて、ようやく現時点まで到達した感がありますが、今後の各種の手続きや工事の行程等を考慮すると、財政負担を軽減するために必須である合併特例債の期限までに残された時間は少ないと言える状況にあると考えます。</p> <p>そこで、以下の点について質問します。</p> <p>①「新中学校整備事業について」の説明の中の「伊豆市新中学校建設スケジュール概要」によると、<u>近々にも農振除外手続きに入ることになっていますが、準備は進んでいるのですか。そもそも地権者の方々の同意が得られて、用地の確定ができる状態になっているのか伺います。</u></p>				市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>②保護者からの要望が多い通学対策の検討はどうなっているのか。建設地が決まらなると具体的な検討が出来ない、と言われてきたが、<u>交通事業者との協議等はどうなっていますか。又、新中学校についての保護者への説明についてはどうなっているのか伺います。</u></p> <p>③計画では、<u>合併特例債の活用を前提に令和7年4月の新中学校開校を目指していますが、端的に言ってスケジュール感はどうですか。開校を1年前寄せるような余裕があるのか、無いのか、判断しかねる状態が続いているので、伺います。</u></p> <p>④議会としては、<u>新中学校整備事業について、令和3年度当初予算が示されて初めて審査し判断できる段階になるわけですが、未だに建設地等正式に決まっていない現状は、非常に不安を感じています。</u></p> <p><u>新中学校の整備事業全体の進捗に与える影響を考えると、新中学校整備事業について、早急に議会と市長執行部との間で、何らかの合意を得ておく必要があると思います</u> <u>が、市長の考えを伺います。</u></p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年11月19日

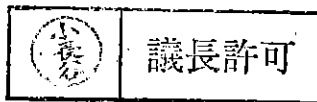
伊豆市議会議長 様

議席番号 15 議員名 永岡 康司

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
(1) 観光防災まちづくり推進計画	<p>伊豆市は、伊豆半島の広域的な交流拠点として～いつまでも住み続けたい、次世代に笑顔をつなぐ礎づくり～を第二次総合計画の目指すまちの理念として「持続可能なまち」の創造を目指しています。</p> <p>海の玄関口である土肥地域は、人口減少・少子高齢化の進行や、地震・津波や土砂災害などの災害リスクなどの課題を抱えている地域であります。そのため、地域の暮らしや観光を初めとする産業を維持しながらも、災害リスクからの安全・安心の確保が重要な課題となっています。</p> <p>そのために伊豆市では、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき『伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくり推進計画』を策定しました。</p> <p>質問</p> <p>①観光防災まちづくり推進計画では、津波災害危険区域と津波災害特別警戒区域(オレンジゾーン)を設置していますがこのオレンジゾーンにどのような目的で津波避難複合施設(津波避難商業タワー)を設置するのか。また、当該施設の概要説明を求めます。</p> <p>②津波避難複合施設の設置場所である松原公園にある松の木の本の保安林としての機能を確保することはできるか。</p> <p>③避難タワーに併設する商業施設による経済効果をどの様に見込んでいるか。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>(2) 浜の活力再生 プランについて</p>	<p><u>④津波避難複合施設整備に当たり、土肥のシンボルである松の木の伐採や商業施設設置等、地元住民とのコンセンサスをどの様に実施してきたか。</u></p> <p>SDG's (持続可能な開発目標) は 2015 年 9 月の国連サミットで採択されたもので、17 項目の目標を掲げ、特に今回、身近にある目標 14「海の豊かさを守ろう」、目的は、海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用することです。</p> <p>水産庁は平成 26 年 2 月、水産業を核とした漁村の活性化「浜の活力再生プラン」を策定しました。漁業の衰退により漁民全体に元気がない。</p> <p>目指すところは、所得の向上 10%と地域の活性化を図ることです。</p> <p>各地域の水産業再生委員会がプランを策定して、水産庁長官のプラン承認を受けた漁村地域が支援を受けることが出来るとなっています。</p> <p>平成 26 年に伊豆漁協は「伊豆地区地域水産業再生委員会」を立ち上げ、浜の活力再生プランを策定しました。以来 5 年たちましたが現在の状況・結果をお聞きます。</p> <p>質問</p> <p><u>①過去 5 年間の経過と現在の状況からどの様な成果が見られたか</u></p> <p><u>②漁場整備事業では、投石による天草漁場を造成し、養生面積を増大させる、となっていますが、結果はどうですか。また、藻場再生事業を実施する考えは有りませんか。</u></p>	<p>市 長</p>



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年 11月 19日

伊豆市議会議長 様

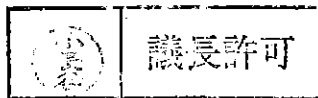
議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

発言の種別 (○で囲む) (一般質問)・質疑・反対討論・賛成討論・その他()		
発言の要旨		答弁を 求める者
件名	内 容	
1、行政手続きのオンライン化について	<p>9月に発足した菅内閣の目玉政策の一つに、行政のデジタル化を進めるDX(デジタルトランスフォーメーション)への転換があります。</p> <p>ICTやデータの活用は先進国に大きく水をあけられていて、特に遅れが目立つのは行政のデジタル化とされています。</p> <p>パソコンやスマートフォンなどからオンラインで完結できる行政手続きは、全国平均でわずか7%程度との報道もあります。</p> <p>今後本市においても、国に歩調を合わせて行政手続きのオンライン化と、DX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組むことが迫られると思いますが、住民サービスの向上と行政の効率化のため、現状の制度、システムを活用して、できることから先んじて実行することも大切であると考えます。</p> <p>具体的には、マイナンバーカードを活用した「マイナポータル・ぴったりサービス」のフル活用があります。</p> <p>政府も行政のデジタル化を進める重要な手段としてマイナンバーカードの活用を重視し、普及促進に向けて健康保険証や運転免許証など個人を識別する規格の統一を目指しています。</p> <p>この「ぴったりサービス」は、各自治体の手続き検索(内容確認)と電子申請機能を可能とするもので、災害時の罹災証明書の発行申請から、児童手当等の受給資格の認定申請、保育施設等の利用申し込み、妊娠の届け出など、幅広い行政手続きをパソコンやスマホから申請できるものです。</p> <p><u>行政手続きのオンライン化について、本市の取り組み状況と今後の計画について伺います。</u></p>	市長 教育長
2、行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直し	<p>国においては、行政のデジタル化の障害になっているとして、行政手続き文書だけでなく税にかかる他の書類でも、押印廃止の流れが加速しています。</p> <p>河野太郎行革担当大臣が言っている通り、約99%の中央省庁の</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
<p>3、横断歩道に近接した「危険なバス停」対策</p>	<p>行政手続き文書の押印が実際に廃止された場合、当市の行政文書においても、何と何が連動して廃止できるかなどの判断をして、いまから廃止対象リストの洗い出しを行うなどの準備を進める必要があると思います。</p> <p>川勝知事も「脱ハンコ」宣言を出し、プロジェクトチームを立ち上げて見直しを進めるとしています。</p> <p>袋井市ではすでに、市の規則等で定める約 1,800 種類の申請書等について、本年 7 月に「申請書等の押印見直しの洗い出し調査」を行い、押印の必要性の再確認を行った結果、法令等に押印の義務付けがあるものを除き、慣例的に求めている約 680 種類の申請書等について、9 月から押印の義務付けを廃止しています。</p> <p>また、静岡市や浜松市でも押印廃止が進んでいます。</p> <p><u>当市においてこれまで進められた押印廃止の取り組みがあればお示しください。</u></p> <p><u>また、行政手続きのオンライン化を進め、住民サービスの向上と行政の効率化のためにも、国の動きに先んじて、現状押印が必要とされている文書、国と連動せざるを得ない文書、市単独で判断できるものなどの洗い出しを進める必要があると考えますが、いかがでしょうか。</u></p> <p>2018 年 8 月 30 日、横浜市内で小学 5 年生の女兒がバスを降りた後、横断歩道を渡る最中に車にはねられて亡くなる事故が起きました。ここは停留所にバスが停車するとその車体で横断歩道がふさがり、そのためバスの後方から回って横断しようとした女兒が、対向車の死角から現れる形となって衝突したものです。</p> <p>昨年 9 月 1 日、バスの車体が横断歩道にかかる停留所が全国で 441 か所に上ると全国紙が報道したことがきっかけとなり、政府は全国のバス停の実態調査に乗り出しました。</p> <p>具体的には、各都道府県にある国交省管轄の運輸支局を中心に、バス事業者やバス協会、警察、道路管理者で検討会を作り、安全性に問題のあるバス停を洗い出して ABC の 3 ランクに区分するもので、バスの停車時に横断歩道に車体がかかる、最も危険度の高い A ランクのバス停が全国で 2,000 か所以上あることが中間調査で判明しています。各ランクに該当する全バス停のリストは年内公表を目指すとしています。</p> <p>市内のバス停を見ると、A ランクとまでいかななくても停車した車体のすぐ近くに横断歩道がある場所は多くあり、とくに県道伊東修</p>	<p>市長 教育長</p>

件名	内容	答弁を 求める者
4、お悔み窓口 設置で遺族負 担の軽減を	<p>善寺線に多く見られます。</p> <p><u>この路線は交通量も非常に多く、交通事故のリスクが高いといえます。このため国の報告を待つまでもなく、事故を未然に防ぐ対策を検討する必要があると思いますがいかがでしょうか。</u></p> <p>住民の死亡に伴う手続きをワンストップで担う「お悔み窓口」を設置する自治体が徐々に広がっています。</p> <p>遺族は大事な方を失った悲しみの中でも、死亡や相続に関する手続きを進めなければなりません。年金や保険、税など多岐にわたる手続きを進めることは大きな負担となり、今後、高齢化の進展により配偶者が高齢となるケースや、世帯構成や家族形態の変化により親族が遠方または疎遠になるケースが増えるなど、遺族が行う死亡・相続にかかる手続きの負担は一層増加することが想定されます。</p> <p>お悔み窓口を全国で最初に設置したのは大分県別府市の2016年5月で、19年度末までに少なくとも24自治体が導入しているとされ、名称や仕組みは様々ですが、遺族に寄り添う観点から手続きの円滑化を図っています。介護保険の被保険者証や健康保険証の返納など、各担当課を回れば半日かかる手続きを1時間程度に短縮できるそうです。</p> <p>こうした事例を踏まえ、国では「お悔みコーナー設置自治体支援ナビ」を開発・作成し、希望する自治体に提供しています。また、窓口設置に関するガイドラインも策定されています。</p> <p><u>遺族の心理的負担軽減にもつながる「お悔み窓口」設置を検討してはいかがでしょうか。</u></p>	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年11月18日

伊豆市議会議長 様

議席番号 6番 議員名 下山 祥二

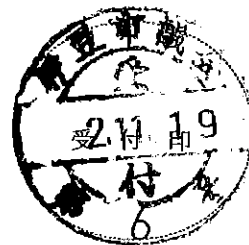
No. 1

発言の種別 (○で囲む)		(<u>一般質問</u>) ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 平和寺問題の早期完全解決に向けた取組みについて	<p>豊かな自然を誇り、長閑な里山風景が広がる柿木地区、大平柿木と本柿木の間を縫うように流れる柿木川は柿木橋で本流の狩野川に合流する。その清流は流域の住民の生活・農業・事業用用水の貴重な水源として長年地域に貢献しています。</p> <p>今、その柿木川が平和寺本山の敷地内から廃棄物を含んだ大量の土砂流失により自然環境が破壊され、住民や事業者の安心安全な生活が脅かされ、事業の撤退を余儀なくされた事業者も存在し問題は深刻化しております。</p> <p>行政として損害賠償請求訴訟の準備に着手するとの報告もありますが、この問題は行政の枠を超えて、市民、事業者、行政、議会、警察、県、国、さらには近隣市町との連携、メディアとも情報共有した上で一丸となって立ち向かうべき難題な事案であると捉えています。</p> <p>地元住民をはじめ伊豆市民の安心・安全の確保のため、伊豆市の取組や対策の現況を確認し、議会としても市民の不安や心配を払拭し早期解決に向けた取組みを後押しすべきと考え以下の質問をいたします。</p> <p>① <u>平和寺本山からの土砂の流失について伊豆市はいつ把握し、どのようなリスクを考えたのか</u></p> <p>② <u>現段階での対策、取組みの成果と課題は何か</u></p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>③ 土砂流失防止策として、しがら柵を設置しその効果に期待しますが、来年以降も大型台風が襲来する可能性があり、現状の仮設柵では限界があると考えます。やはり平和寺敷地内の大量の土砂を撤去しない限り、完全に安心は得られないと思います。法的な解決には相当な時間を要することは理解しているが、<u>市民の不安を払しょくするために市はどのように取組むのか</u></p> <p>④ 同様な事案が伊豆市をはじめ伊豆半島全域に拡大するリスクも考えられます。<u>再発防止のためにはどのような連携や対策が必要と考えるか</u></p>	市 長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年11月19日

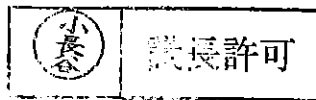
伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 小川多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		(一般質問)・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 交通弱者の移動手段等について	<p>現在の伊豆市は人口の減少により多くのバス路線が廃止になったり運行本数が減っています。又、高齢化による運転免許証の返納により病院への受診や買い物などに困っている方が大勢います。このような交通弱者の移動手段としてコミュニティバスの運行などが必要ではないかと考えられます。そこで次のことを伺います。</p> <p>(1) <u>現在高齢者に配布されているタクシー券は地の利に拘わらず一定の金額であるが、改善することは考えられませんか。</u></p> <p>(2) <u>買い物に関しては移動販売車等の運行を積極的に推進することは考えられませんか。</u></p> <p>(3) <u>コミュニティバスやデマンド交通など、各地域の実情にあった交通システムを今後の施策として考えられませんか。</u></p>	市長
2. 事故防止のための対策について	<p>修善寺駅から東に向かう道路が来年のオリンピック、パラリンピックに向けて整備され広々としましたが非常に危険を伴うことがあります。修善寺駅方面からサイクルスポーツセンターに向かう道路と柏久保方面から牧之郷方面に向かう道路の修善寺醤油店角の交差点に死角があります。修善寺駅方面からの直進車は渋滞時には左側からの車が見えにくいのです。</p>	市長

件名	内容	答弁を求める者
	<p>来年開催される東京 2020 大会では、修善寺駅周辺で、 観戦客を輸送するシャトルバスの往来や、夏季繁忙期であるため、多くの一般車両との混雑が予測されますが、安全対策や渋滞対策をどのように考えていますか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年11月19日

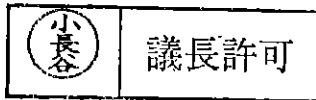
伊豆市議会議長 様

議席番号 8 議員名 星谷 和馬

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
最大の課題人口対策	<p>伊豆市の最大の課題は人口対策である。</p> <p>平成16年4月1日伊豆市が誕生、あれから人口は実に9,500人も減少し、今年9月には30,000人を下回ってしまった。国の推測によると2045年には15,149人。</p> <p>伊豆市のまち、ひと、しごと創生は21,000人目標。いずれにしても大幅な減少である。市の税収は減少し、伊豆市の衰退、行政サービスの低下も避けられない。</p> <p>山間地域は限界集落、消滅集落が発生する。比例して農地荒廃も予想される。</p> <p>2025年には新中学校が開校。山間地域の方は不便が増し他地域へ転出が予想される。なんとしても市内に留まっていたり対策をすべき。</p> <p>また、これから様々な大型事業が予定されている。(東京オリンピック、パラリンピック、移転する中伊豆温泉病院への支援、新ゴミ処理施設建設、新中学校建設、防災公園、土肥避難タワー建設等)そして、新たに平和寺廃棄物問題、新型コロナウイルス第3波と山積している。それに伴い財政は超積極的予算を組み、大幅な市債の発行となる。財政悪化は免れない。一刻も早く健全体質に戻すべきである。</p> <p>この様な現状の中で質問する。</p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
平和寺の廃棄物	<p><u>人口減少対策には、宅地開発を市自ら実施する、空き家の有効活用を行う、天城会館や旧天城湯ヶ島庁舎の跡地を有効活用する、婚活イベント等の実施、奨学金制度の充実が必要と考えるが如何か。また、大幅な人口減少の現状を捉えた新たな対策はあるか。</u></p> <p>10月31日、多くの議員が平和寺敷地内に投棄された廃棄物の現場の状況を確認した。現場は、ビニール、プラスチック、鉄くず、瓦のかけら等あらゆる廃棄物が大量に山頂から沢、河川に流出していた。</p> <p><u>市はこのことにどの様に対応していくのか伺う。</u></p>	市長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和2年11月18日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 議員名 間野 みどり

No. 1

発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ()		答 弁 を 求める者
件 名	内 容	
1. 伊豆市児童発達支援について	<p>令和2年6月に伊豆市立修善寺東こども園と併用してできました。伊豆市児童発達支援センターですが、始まって6ヶ月ほどが経ちました。その後は、どのような経過をたどっているか確認したいと思います。</p> <p>①利用者状況はどうですか。</p> <p>②市内こども園に通所しながらの利用者はどの位ですか。</p> <p>③園から通所している子どもの中には、支援員（保育士）がついている子どもがいると思いますが、昨今保育士不足で人数等の体制が心配です。その点は各園どのような対応ですか。また補助等どのような状況でしょうか。</p> <p>④その保育士に関連してお聞きします。休日保育に伴い、保育士は正職、パート等どのような配置で運営されていますか。</p> <p>⑤また、休日保育出勤に伴う手当等はどのようになっていますか。</p> <p>⑥伊豆市では、5歳児健診をはじめて7年経つと聞きました。他の市町村に比べると早期着手で、入学前に準備を計画的に出来る等高い評価もありますが、課題もあるようで</p>	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
<p>2. オストメイトを含めて障がい者対応の多機能トイレについて</p>	<p>す。<u>その点はどのように把握していますか。</u> <u>そして伊豆市としてどう考えていますか。</u></p> <p>令和元年5月と令和2年9月にオストメイトトイレについて質問しました。その後、道の駅伊豆月ヶ瀬はとても使いやすいオストメイトトイレが出来、修善寺駅や修善寺温泉場駐車場にはオストメイト対応トイレ e-anza も取り付けられ、少しずつ進展を感じています。</p> <p>①<u>その後、他の施設への進展等ありますか。</u></p> <p>②<u>また、今後新しく出来るであろう施設のトイレ等もこのような取り組みを考えていますか。</u></p> <p>③<u>障がい者計画における多機能トイレの位置づけは、どのようになっていますか。</u></p> <p>④<u>オストメイトトイレの整備は、健康福祉部をはじめ市の各部署間の連携が必要となりますが、その点はどのようになっていますか。</u></p>	<p>市長</p>



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 2年11月19日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)		一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他()
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1 移住者ケアチームの創設について	<p>国内の山あいの集落では、人口減少や高齢化により『里じまい』『集落じまい』が現実となった行政区があります。どうやって集落を終わりにするかが大きな問題となっています。伊豆市においても、同様な現象が近い将来予想されています。反して、コロナ禍により都会からの移住希望は増えておりますが空家の貸出しの難しさ（仏様がある、親戚からの意見、広すぎる）などからそのニーズに応えきれていないのが現状です。</p> <p>人口減少対策として、大きなチャンスと認識するとともに移住者の受け入れについて地域の習慣や守るべきルールを伝えなければトラブルの原因となってしまいます。都会からの移住者と高齢化や人口減少に悩む集落に新しいコミュニティーをつくる方向性を打ち出すため、以下について質問します。</p> <p>(1) <u>5年後、10年後の行政区とりわけ山あいの地区はどのようになっていると予想、シュミレーションしていますか。</u></p> <p>(2) <u>集落の維持、地域の伝統文化の引継ぎ、祭りの継承、地域コミュニティーとしての活力、防犯、河川の清掃など自助、共助ができなくなることが予想される地区も出てくると思われませんがその対策をどのように考えていますか。</u></p>	市長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2 市内在住の地域づくりデザイナーや地域づくり実践者の発掘と活用について	<p>(3) <u>地域づくり協議会の役員として移住のニーズに対応するため仲間とともに奔走していますが冒頭の説明のとおり空家の活用には時間がかかります。移住希望者が地域にとけこみ、住民との交流が進むまでの間、移住希望者のお試し住宅として空いている市営住宅を短期間の期限を設け貸し出すことは考えられますか。</u></p> <p>(4) <u>移住者と地元住民との円滑なコミュニティーづくりのために地域のリーダーと行政担当者、民間事業者等で組織する移住者徹底ケアチームの創設あるいは組織が必要だと考えられませんか。</u></p> <p>各種町づくりや都市計画、景観づくりなどの会議にそれぞれの担当課で依頼したコンサルタントがリードする場面が多くありました。彼らは伊豆市の実情を把握しこの町を何とかしたいと本気で思っていたのかいつも疑問に思っ て参加していました。</p> <p>名ばかりコンサルタントが全国の町を金太郎飴のように同じ色にしていると揶揄されることもあります。</p> <p>町の方向性を決めていく会議では担当職員と伊豆市在住のこの町を本気で憂える地域づくりの実践者や専門家がリードしなければ住みよい町づくりにはつながらないと考え ます。</p> <p>以下について質問します。</p> <p>(1) <u>伊豆市在住で、町づくりや地域デザインのコンサル タント業務を取り扱う専門家、あるいは地域づくりに奔走する実践者にぜひ、会って、話して町づくりのヒントにして欲しいと思っ ていますが市はどの ように考えますか。</u></p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

